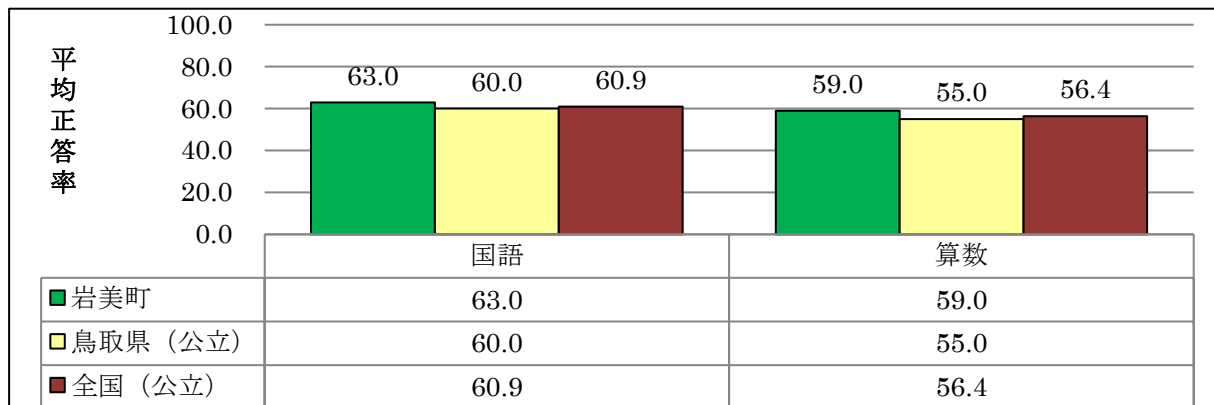


令和8年度 全国学力学習状況調査結果の概要

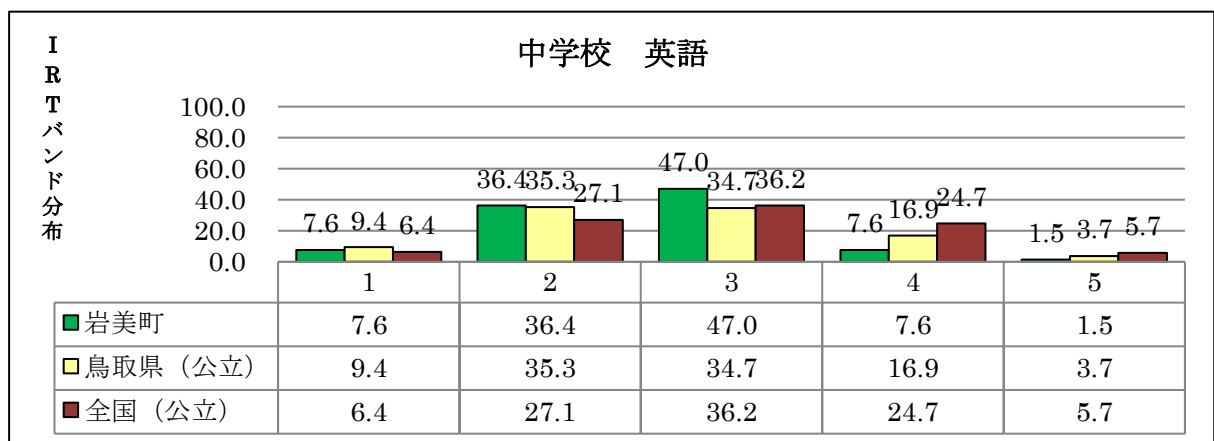
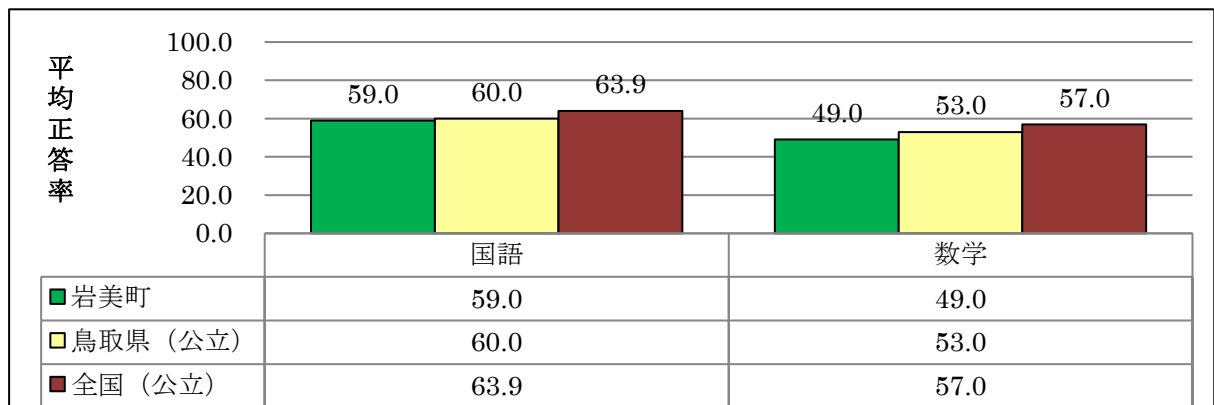
令和8年9月
岩美町教育委員会

小学校6年生は「国語」「算数」、中学校3年生は「国語」「数学」「英語」について、「知識」と「活用」に関する内容を一体化した問題の学力調査、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を実施しました。その結果の概要をお知らせいたします。

☆教科に関する調査結果の概要 【小学校】



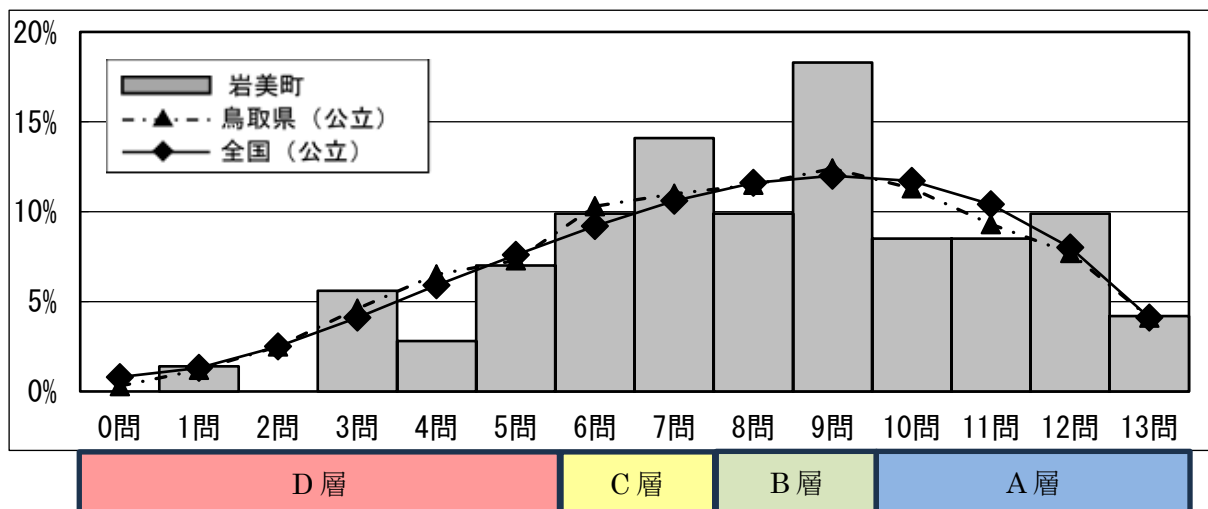
【中学校】



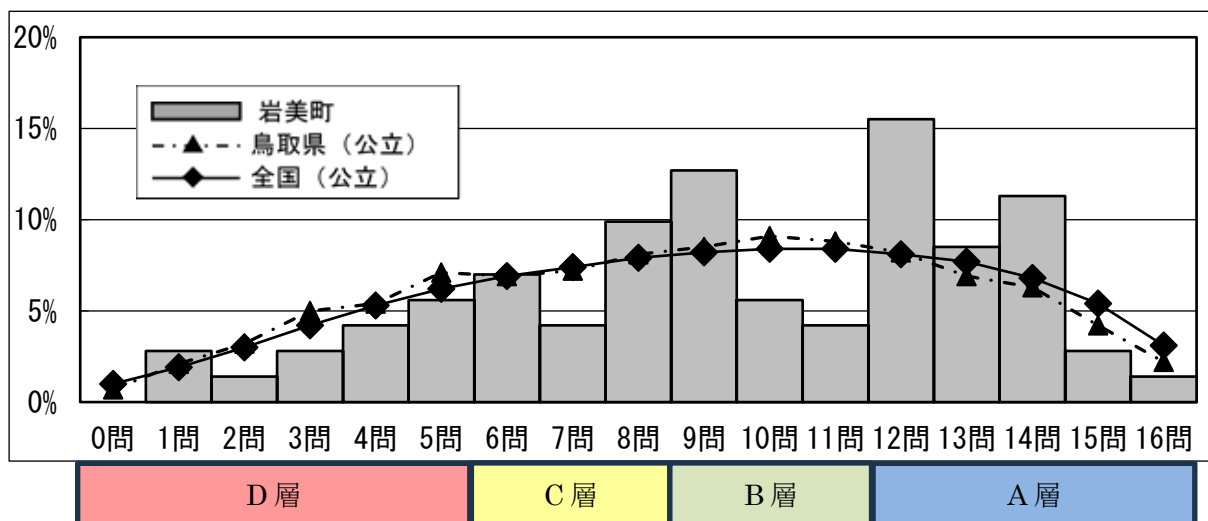
※中学校英語については、平均正答率ではなく他教科と調査形式が異なる IRT バンド分布で表しています(3 を基準とし、1 が最も低く、5 が最も高い)。

正答数分布グラフ【小学校】

国語



算数



《小学校国語》 国語の平均正答率は県及び全国の平均正答率を上回っています。

○漢字を正しく使ったり、情報と情報との関係を理解したりすることを問う問題において、岩美町の平均正答率が県及び全国の平均正答率を上回りました。

△学力調査の結果から、「書くこと」及び「読むこと」において課題が見られました。特に文章を読んで理解したことをまとめて書き表したり、相手に伝わるように書き方を工夫したりする記述式の問題に課題が見られます。相手にわかりやすく伝えるという目的意識を明確にもち、場面の状況に応じて引用したり、図表やグラフを用いたりしながら、自分の考えを表現していくことが大切です。

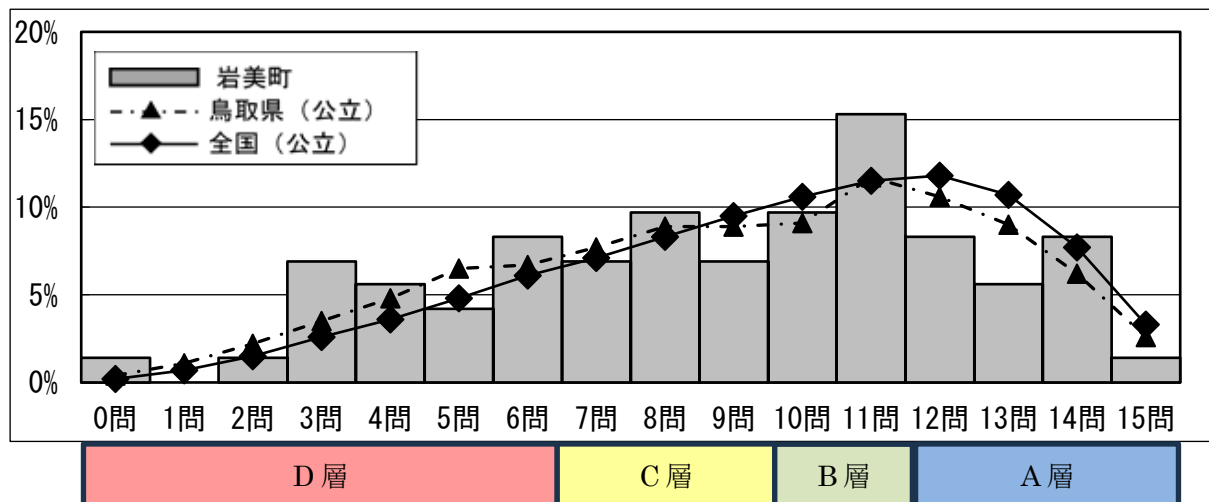
《小学校算数》 算数の平均正答率は県及び全国の平均正答率を上回っています。

○調べたい数量の求め方や異分母の分数の大小の判断等を、数と言葉を用いて記述できるかどうかを問う記述式の問題において、岩美町の平均正答率が、県及び全国の平均正答率を上回りました。

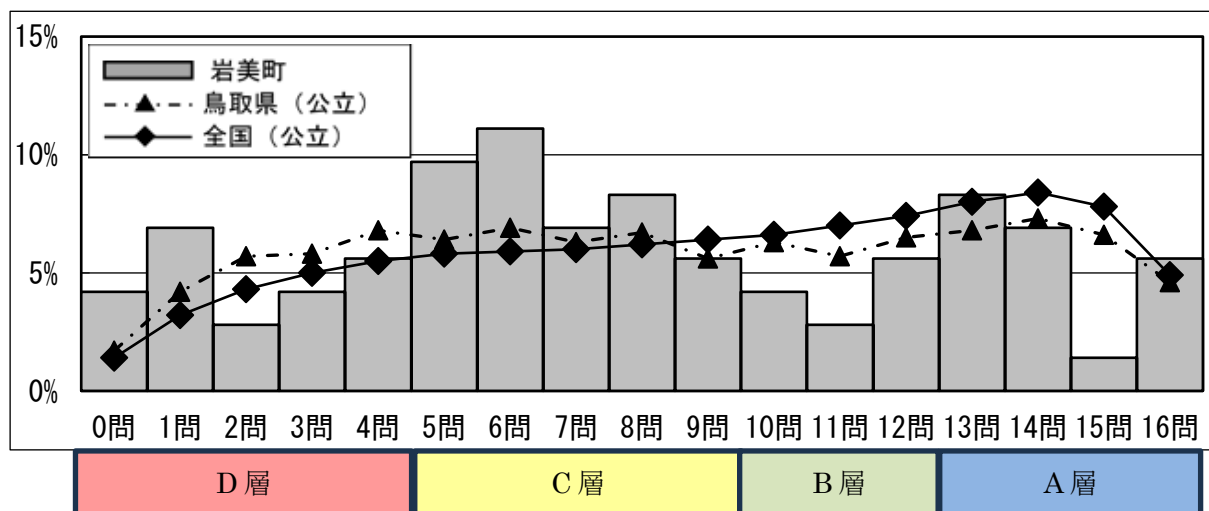
△基準量や比較量、割合の関係を問う問題において、岩美町の平均正答率が県及び全国の平均正答率を下回りました。日常生活の様々な問題場面において、事象を数理的に捉え、単位量当たりの大きさの意味を図や数直線を用いて理解することが大切です。

正答数分布グラフ【中学校】

国語



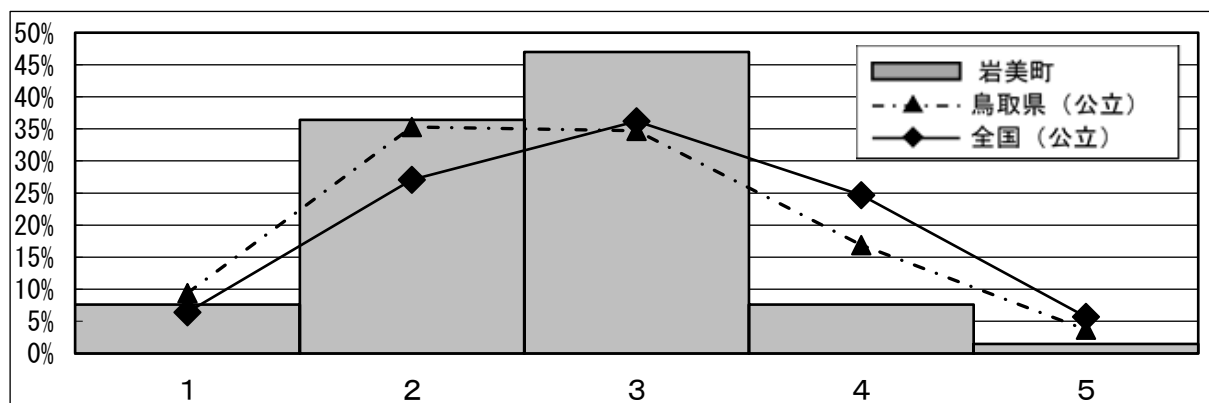
数学



英語「4技能 IRT スコア」

		町	県	国
中学校	英語	458	470	499

「IRT バンド分布」



《中学校国語》国語の平均正答率は県及び全国の平均正答率を下回っています。

○結論を導くために様々な立場の人々の考えをまとめることや、読んだ文章をどう精査・解釈したのかを問う記述式の問題において、岩美町の平均正答率が、県及び全国の平均正答率を上回りました。

△文脈に即して正しく漢字を書くことや、情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかを問う問題において、岩美町の平均正答率が、県及び全国の平均正答率を下回りました。語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈における意味を具体的かつ個別的に捉えることが大切です。また、読書活動等を通して、多くの語句や語法、漢字等にふれることも必要です。

《中学校数学》数学の平均正答率は県及び全国の平均正答率を下回っています。

△昨年度と比べ県及び全国平均正答率との差は縮まったものの、数学全体の岩美町の平均正答率は県及び全国の平均正答率を下回りました。また、全分類区分において岩美町の平均正答率が全国の平均正答率を下回りました。とくに、2つの直線が平行となる条件を理解しているかどうかや、筋道を立てて考え証明することができるかどうかを問う問題や、データの傾向を読み取り、批判的に考查し判断することができるかどうかを問う問題において、全国の平均正答率が10%以上下回りました。単に問題を解くだけではなく、問題の前提を変えた場合どうなるかを考える等、統合的・発展的に考察していくことが大切です。

《中学校英語》英語の4技能 IRT スコアは県及び全国のスコアを下回っています。

○物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものを選択する問題において岩美町の平均正答率が県及び全国の平均正答率を上回りました。

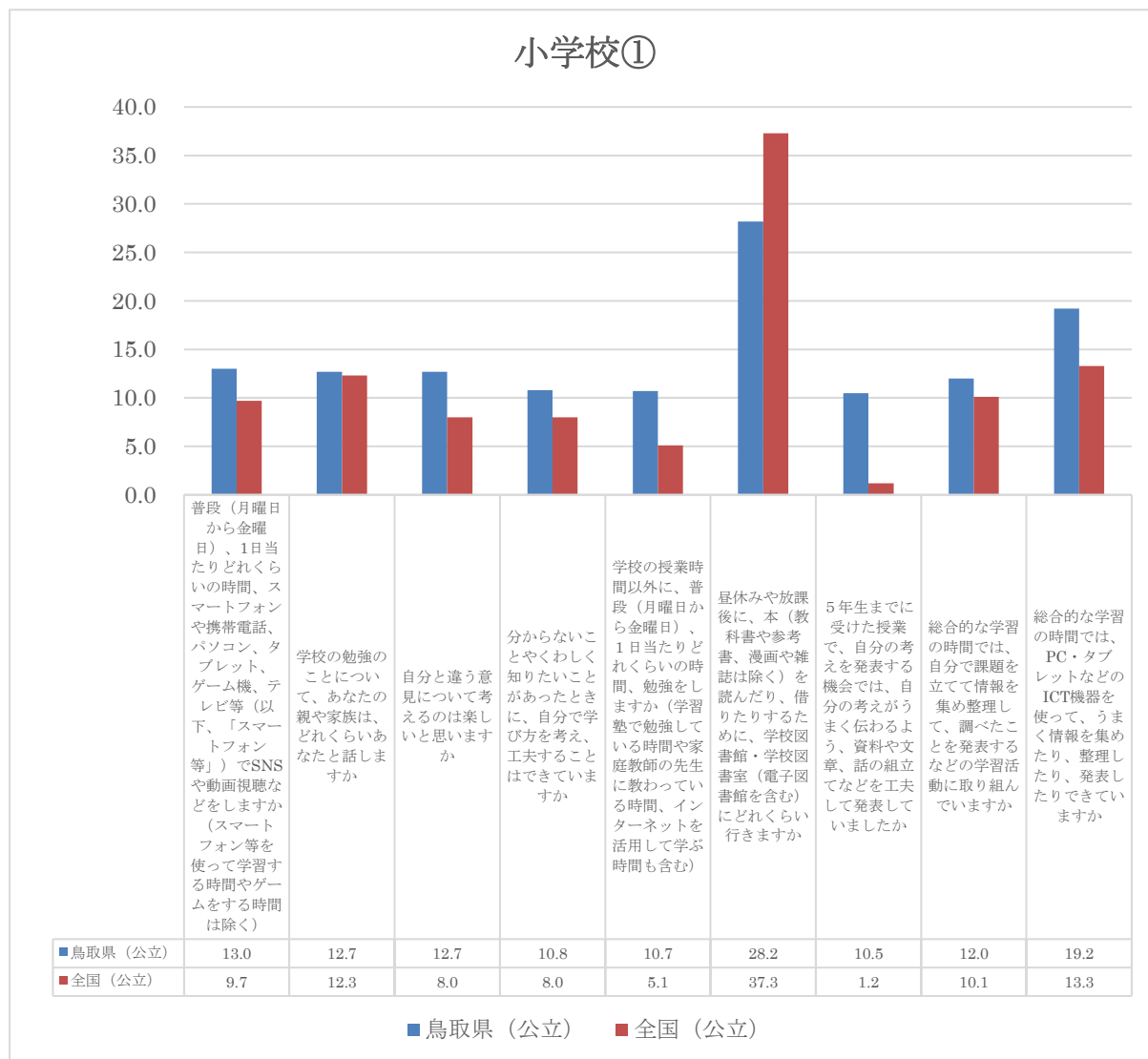
▲4技能 IRT スコアが、県、全国のスコアと比べ下回り、IRT バンドにおいて 5、4 に属する生徒の割合(IRT バンド分布は 3 を基準とし、1 が最も低く、5 が最も高い)が県、全国の割合を下回りました。自分の気持ちや考えだけでなく、社会的な話題について、ALT や友だちと英語で意見交換を行う機会を増やしていくことや、複数名配置の ALT を活用し、授業外でも自ら積極的に英語に触れる機会をつくっていくことが大切です。

☆生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要☆

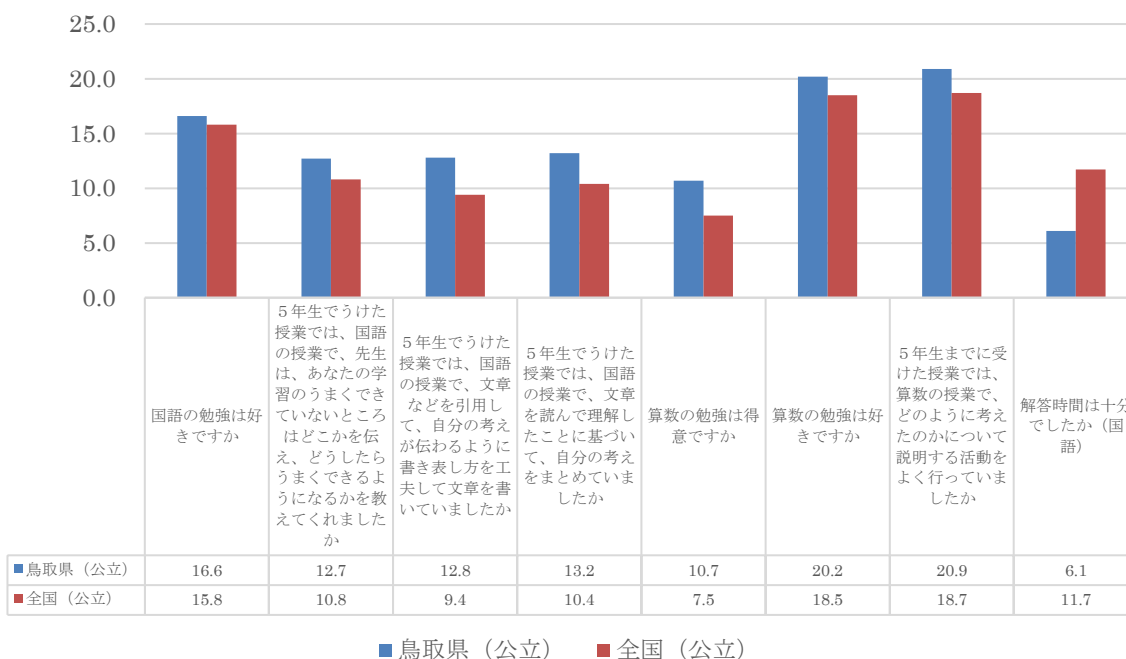
※質問項目のうち、県・全国の回答率と比べて、小学校・中学校とも±10%以上の差があった項目だけ質問順に抽出しました。中央の「0」を基準にして、上側に振れている項目が肯定的回答の割合が高かった項目、下側に振れている項目が肯定的回答の割合が低かった項目となります。

【小学校】

※小学校は、全 73 項目中、62 項目で肯定的な評価の割合が全国平均を上回っています。



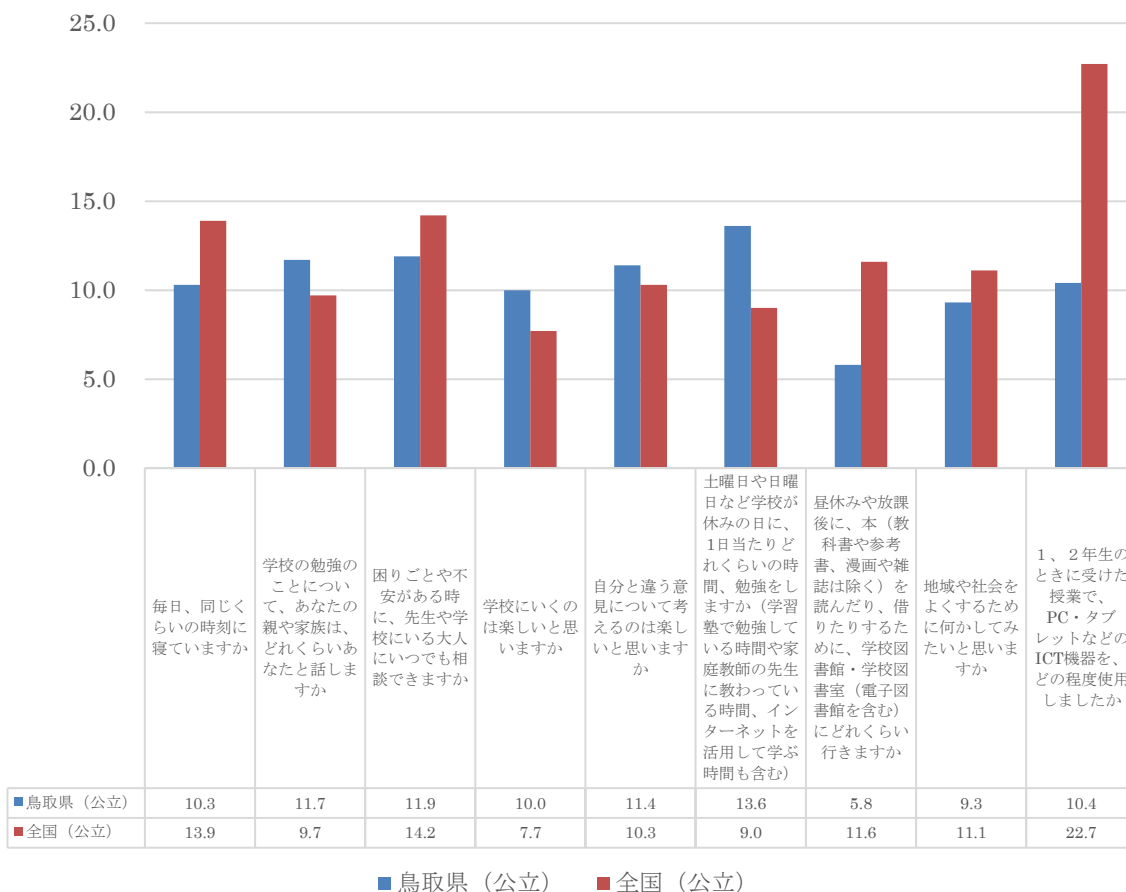
小学校②



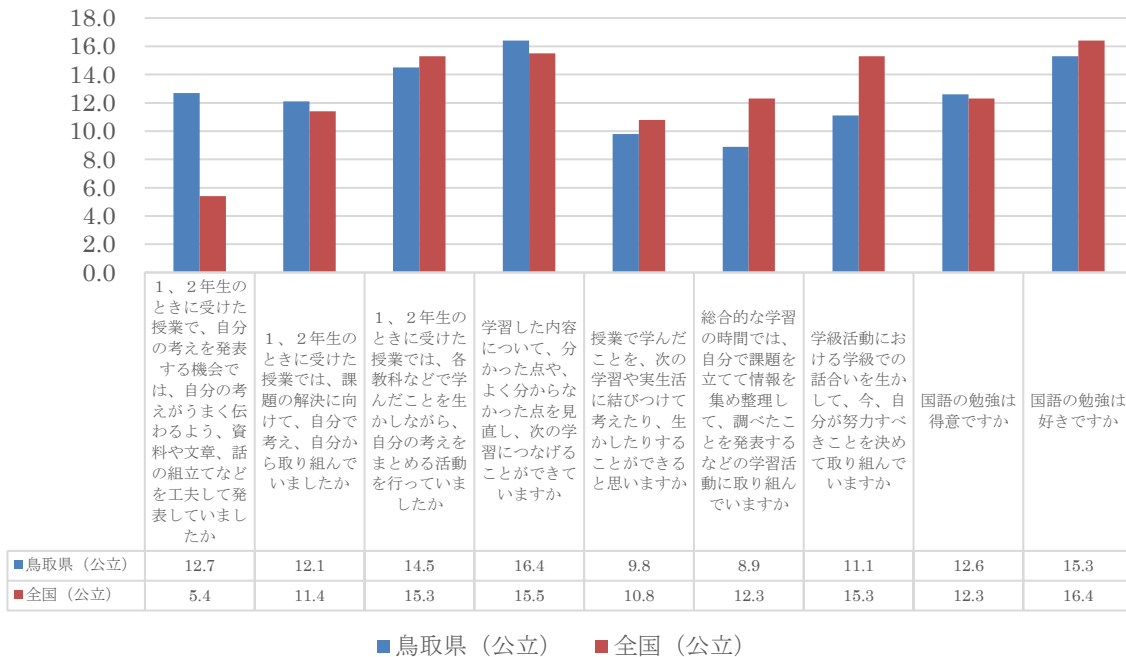
【中学校】

※中学校は、全 79 項目中、63 項目で肯定的な評価の割合が全国平均を上回っています。

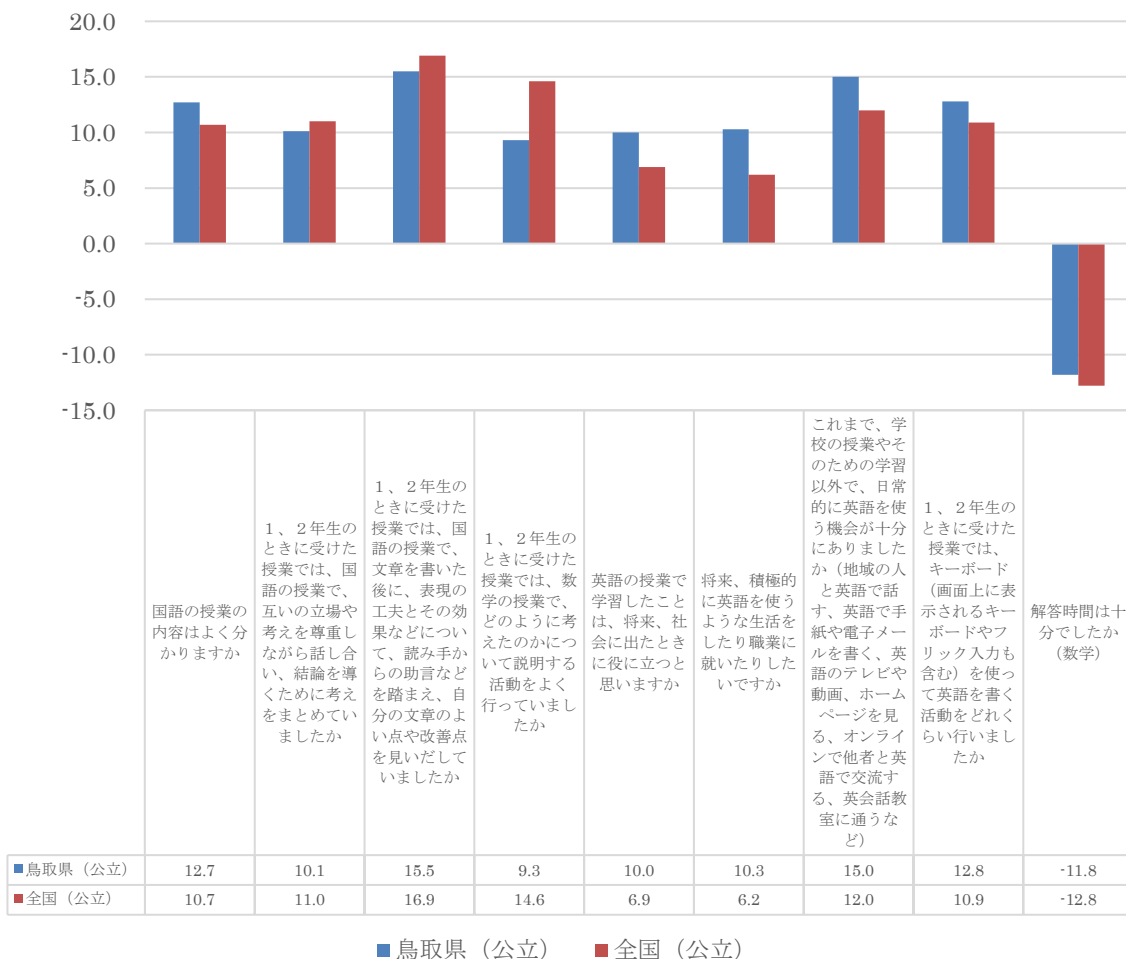
中学校①



中学校②



中学校③



- 小学校、中学校ともに、「学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか」の質問項目について肯定的な回答の割合が県及び全国の平均を上回りました。
- 小学校、中学校ともに、「普段(月曜日から金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等(以下、「スマートフォン等」)でSNSや動画視聴などをしますか(スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く)」の質問項目について 3 時間以上使用すると回答した児童の割合が県及び国の平均を下回りました。
- 小学校においては、「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」の質問項目について 2 時間以上と回答する児童の割合が県及び全国の平均を上回りました。
- △中学校においては、「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」の質問項目について 2 時間以上と回答する児童の割合が県及び全国の平均を下回りました。
- △中学校においては、「解答時間は十分でしたか(数学)」の質問項目について肯定的な回答の割合が県及び全国の平均を 12.8%下回りました。

<今後の方策として>

- 1 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」等、主体的・対話的で深い学びに関する質問項目に肯定的に答えたり、「新しいことを学ぶのは好きだ」等、挑戦心や好奇心に関する質問項目に肯定的に答えたりしている児童生徒ほど各教科の正答率・スコアが高い傾向がみられます。主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、岩美町スクラム教育の強みである、校種を超えた児童生徒、職員同士のつながりを活かしながら、児童生徒の挑戦心や好奇心を抱かせる授業改善、学校づくりに努めていきます。
- 2 国語、算数・数学、英語の学力調査の結果から、「書く」ことに対して課題が見られます。学力調査と質問紙調査の結果から、「読書は好きですか」の質問項目に肯定的に答えた児童生徒ほど、記述式の問題の正答率が高く、無解答率も低い傾向がみられます。また「読書は役に立つ」という質問項目に肯定的に答えている児童生徒ほど、課題解決に向けた積極性や、地域や社会への寄与意識が高い傾向がみられました。引き続き、家庭読書の奨励や、読書フォーラムの開催等、読書活動の推進に取り組んでいきます。
- 3 「英語の学習は好きですか」等、英語教育に関する質問紙調査の項目(中学校:全 12 項目、小学校:全 4 項目)については、小学校の 1 項目を除くすべての項目において県及び全国の平均を上回りました。中学校英語の学力調査のスコア結果には課題が見られるものの、ALT増員を伴う英語教育の充実による一定の成果があらわれてきていると考えます。引き続き、町内の保育所や岩美高等学校とも連携を図りながら、今後は授業研究・改善を中心とし、岩美町における英語教育の充実に努めていきます。
- 4 SNS や動画視聴等の利用時間が長い児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが低い傾向が見られています。スクラム教育の取組(チャレンジ・ふれあいデー、生活リズムチェック週間等)にあわせて家庭でのご協力をよろしくお願いします。
- 5 今年度も、県教育委員会、兵庫教育大学のサポートを受けながら、全国学力・学習状況調査の結果と共に、とっとり学力・学習状況調査、i-check、標準学力調査等のデータを総合的に分析し、今後の指導に生かしていきます(Evidence-Based policy making)。個別最適で協働的な学びのより一層の充実(ICT機器の活用等)を目指し、児童生徒一人一人の学力(自己効力感、ねばり強さ等の非認知能力を含む)を育んでいきます。